## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年12月24日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	12/7	0	10.9	32.7	0	0	0	0	
(8.0)		10	11.4	33.5	0	0	0	0	
		20	11.8	33.8	0	0	0	0	
		30	11.8	33.8	0	0	0	0	
厚岸	12/16	0	5.4	33.1	0	0	0	0	
(2.5)		5	5.9	32.7	0	0	0	0	
		10	6.2	33.1	0	0	0	0	
		13	6.6	33.0	0	0	0	0	
標津	12/20	0	5.1	32.0	0	0	50	10	Dru
(7.0)		5	5.1	32.1	0	0	10	0	
		10	5.1	32.1	0	0	30	0	
		15	5.1	32.1	0	0	30	0	

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・アキュミナータが根室海峡(標津)で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年12月13日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	11/18	0	13.8	32.4	0	0	0	0	
(5.3)		10	15.2	33.5	0	0	0	0	
		20	15.8	33.7	0	0	0	0	
		30	15.6	33.7	0	0	0	0	
サロマ湖	12/6	0	4.5	31.4	0	0	90	0	
(7.5)		3	4.5	31.5	0	0	10	0	
		6	4.9	31.7	0	0	0	0	
		9	5.6	32.0	0	0	40	0	
		12	5.7	32.1	0	0	0	0	
		15	5.8	32.2	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・アキュミナータがサロマ湖で出現しています。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年11月29日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	11/15	0	9.3	32.3	0	0	40	10	Di
(7.5)		10	9.3	32.3	0	0	90	10	Di
標津	11/22	0	10.5	33.3	10	0	0	0	
(5.0)		5	10.8	33.4	0	0	0	0	
		10	10.9	33.4	0	0	0	0	
		15	10.9	33.5	0	0	0	0	

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータが能取湖で出現しています。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年11月17日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	11/8	0	10.6	29.5	0	0	0	10	Dn
(3.5)		5	11.8	33.1	0	0	0	0	
		10	11.8	33.2	10	0	0	0	
		13	11.8	33.2	30	0	0	0	
猿払	11/9	0	12.6	34.0	0	0	0	0	
(-)		10	12.6	34.0	0	0	0	10	Dru
		15	12.6	34.0	0	0	0	0	
		20	12.6	34.0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス・コウダータ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・ノルヴェジカが太平洋東部(厚岸湾央)海域で, ディノフィシス・ルジェイが宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年11月12日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	11/4	0	14.3	33.4	0	0	0	10	Dm
(17.0)		10	15.1	34.1	0	0	0	0	
		20	15.0	34.2	0	0	0	0	
		30	15.0	34.2	0	0	0	0	
浜益	11/5	0	14.1	32.3	0	0	0	0	
(17.0)		10	15.6	34.1	0	0	0	0	
		20	15.5	34.1	0	0	0	0	
		30	14.6	34.2	0	0	0	10	Dro
サロマ湖	11/8	0	10.4	31.9	10	10	20	0	
(4.5)		3	10.3	32.1	10	0	30	0	
		6	10.8	32.2	10	0	0	0	
		9	11.6	32.9	10	0	0	0	
		12	11.5	33.1	0	0	0	0	
		15	11.6	33.3	0	0	0	0	
常呂	11/8	1	8.4	31.9	0	0	140	0	
(11.0)		10	8.5	32.0	0	0	400	0	
		20	9.1	32.5	0	0	10	0	
		30	9.5	32.8	0	0	40	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense ፖレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータがサロマ湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。網走中部(常呂)海域ではディノフィシス・アキュミナータが100細胞/Lを超えて出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジħ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年10月27日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	10/13	0	18.2	33.4	0	0	0	0	
(13.0)		10	18.9	34.2	0	0	0	0	
		20	18.8	34.2	0	0	0	0	
		30	18.8	34.2	0	0	0	0	
能取湖	10/18	0	15.0	33.8	0	0	10	0	
(7.9)		10	15.0	33.8	0	0	0	0	
江差	10/19	0	17.3	34.0	0	0	0	0	
(10.3)		10	16.8	34.1	0	0	0	0	
		20	16.4	34.1	0	0	0	0	
		30	16.1	34.2	0	0	0	0	
標津	10/26	0	13.4	33.1	0	0	10	0	
(7.0)		5	13.5	33.2	0	0	10	0	
		10	13.8	33.4	0	0	0	0	
		15	13.9	33.5	0	0	0	0	

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンのディノフィシス・アキュミナータが能取湖および根室海峡(標津)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年10月15日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	備考
サロマ湖	10/12	0	16.6	33.8	0	0	0	0	
(5.8)		3	16.6	33.8	0	0	0	0	
		6	16.6	33.8	0	0	0	0	
		9	16.6	33.8	0	0	30	0	
		12	16.6	33.8	0	0	0	0	
		15	16.6	33.8	0	0	10	0	
常呂	10/12	1	14.0	28.4	0	0	0	0	
(13.0)		10	14.5	33.5	0	0	20	0	
		20	15.3	33.8	0	0	10	0	
		30	16.0	34.0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンのディノフィシス・アキュミナータがサロマ湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年10月12日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	9/27	0	21.9	34.2	0	0	0	0	
(15.5)		10	21.7	34.2	0	0	0	0	
		20	21.6	34.2	0	0	0	0	
		30	17.0	34.4	0	0	0	0	
猿払	10/5	0	18.5	34.3	0	0	0	0	
(-)		10	18.5	34.3	0	0	0	0	
		15	18.5	34.3	0	0	0	0	
		20	18.5	34.3	0	0	0	0	
標津	10/6	0	16.7	33.5	10	0	0	0	
(8.5)		5	16.7	33.6	0	10	10	20	Dn, Dru
		10	16.7	33.6	10	10	0	10	Dn
		15	16.8	33.7	20	0	0	0	
厚岸	10/8	0	15.2	31.6	10	0	0	0	
(3.5)		5	15.0	32.3	0	0	0	0	
		10	14.9	33.3	10	0	0	0	
		13	14.6	33.5	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント ゚リウム タマレンセ スピーシーズ コンプ レックス (旧A. tamarense アレキサント ゚リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンが根室海峡(標津)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年9月30日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	<b></b>		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	9/6	0	17.9	31.6	10		0	10	0	_
(3.5)		5	17.9	32.0	0		0	0	0	
		10	16.1	32.7	0		0	10	0	
		13	15.7	32.9	0		0	0	0	
浜益	9/16	0	21.5	34.0	0		0	0	20	Dro, Dru
(6.0)		10	21.4	34.0	0		0	0	10	Dro
		20	21.3	34.0	0		0	0	0	
		30	19.1	34.2	0		0	0	0	
能取湖	9/21	0	18.5	33.9	0	Aa80	0	0	50	Dm
(3.5)		10	18.4	33.9	0	Aa70	0	0	70	Dru20, Dm50

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシーズ・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主に ディノフィシス・ミトラが能取湖で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウタータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年9月24日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	揰	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
サロマ湖	9/15	0	19.2	33.8	0	Aa360	0	0	0	_
(4.0)		3	19.2	33.8	0	Aa130	0	0	10	Dru
		6	19.1	33.8	0	Aa60	0	0	0	
		9	19.1	33.8	0	Aa430	0	0	0	
		12	19.1	33.8	0	Aa170	10	0	10	Dro
		15	19.2	33.9	0	Aa160	0	0	0	
増毛	9/15	0	21.6	34.1	0		0	0	0	
(22.0)		10	21.6	34.1	0		0	0	10	Dro
		20	21.6	34.1	0		0	0	0	
		30	21.6	34.1	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・ロッンダータおよびディノフィシス ルジエイが出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年9月15日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	9/2	0	21.9	34.0	0	0	0	0	
(16.0)		10	21.9	34.0	0	0	0	0	
		20	21.9	34.0	0	0	0	0	
		30	21.9	34.1	0	0	0	0	
猿払	9/7	0	20.3	33.9	0	0	0	0	
(-)		10	20.0	33.9	0	0	0	10	Dro
		15	19.6	33.9	0	0	0	10	Dm
		20	19.5	33.9	0	0	0	10	Dro
常呂	9/10	1	19.8	34.0	0	0	0	0	
(10.0)		10	19.6	34.0	0	0	0	0	
		20	19.3	34.0	0	0	0	0	
		30	19.1	34.0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex 7ν+4ν) יוֹין אַ 7ν אַ 7ν אַ 7ν אַ 7ν אַ 7ν (IBA. tamarense 7ν+7ν) יוֹין אַ 7ν אַ 7ν אַ 7ν (IBA. tamarense 7ν+7ν) יוֹין אַ 7ν (IBA. tamarense 7ν+7ν (IBA. tamarense 7ν+7ν (IBA. tamarense 7ν+7ν (IBA. tamarense 7ν (IBA. tamarense

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・ロツンダータおよびディノフィシス・ミトラが宗谷北部(猿払)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年9月8日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	·	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	8/24	0	17.2	33.0	30		10	60	0	
(7.0)		5	16.1	33.1	30		10	20	10	Dru
		10	14.4	33.7	20		0	10	0	
		15	13.6	33.7	0		0	0	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \na$ 

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ、 Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが根室海峡(標津)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主に ディノフィシス・アキュミナータが根室海峡(標津)海域で出現しています。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年9月1日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因	重		下痢性原		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At		Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	8/18	0	22.2	34.1	0		0	0	0	
(14.3)		10	22.2	34.2	0		0	0	0	
		20	21.4	34.2	0		0	0	0	
		30	20.2	34.2	0		0	0	0	
浜益	8/23	0	22.1	34.0	0		0	0	10	Dro
(12.0)		10	22.0	34.0	0		0	0	0	
		20	21.8	34.0	0		0	0	10	Dru
		30	21.4	33.9	0		0	0	0	
厚岸	8/23	0	17.9	31.6	20		0	10	30	Dro20, Dru10
(6.5)		5	17.9	32.0	30		0	80	0	
		10	16.1	32.7	20		10	0	10	Dn
		13	15.7	32.9	0		10	0	10	Dn
能取湖	8/24	0	18.8	33.6	0	Aa11580	0	0	0	
(5.5)		10	17.8	33.8	0	Aa20600	20	170	0	

At = Alexandrium tamarense species complex  $7\nu$ 

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは, 主に ディノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域および能取湖で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年8月25日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	麻痺性原因種 下痢性原因種				因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	•	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L		細胞/L	細胞/L	細胞/L	
網走	8/13	0	18.4	33.7	0		0	0	0	
(9.0)		10	16.8	33.8	0		0	0	10	Dm
		20	16.2	33.8	0		0	0	0	
		30	15.0	33.8	0		0	0	0	
頓別	8/17	0	18.6	34.1	0		0	0	10	Dro10
(-)		10	17.9	34.2	0		0	0	30	Dro20, Dm10
		20	16.8	34.2	0		0	0	0	
		30	16	34.1	0		0	0	0	
紋別	8/17	0	17.3	33.9	50		0	0	0	
(15.0)		15	16.5	33.8	0		0	0	0	
		25	15.9	33.8	0		0	0	0	
		41	15.3	33.8	0		0	0	0	
常呂	8/17	2	16.3	33.2	0		0	0	0	
(11.0)		10	14.2	33.7	0		0	0	0	
		20	14.2	33.8	0		0	0	10	Dru
		30	14.2	33.8	0		0	0	20	Dru
サロマ湖	8/17	0	19.5	33.4	0	Aa90	0	0	10	Dro
(4.2)		3	19.3	33.3	0	Aa350	0	0	0	
		6	19.1	33.5	0	Aa680	10	0	0	
		9	18.2	33.6	0	Aa180	0	0	0	
		12	18.0	33.7	0	Aa280	0	0	0	
		15	17.4	33.8	0	Aa30	10	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense ፖレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走北部(紋別)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは、主にディノフィシス・ロツンダータが宗谷南部(頓別)海域で, ディノフィシス・ルジェイが網走中部(常呂)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年8月16日

### 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	8/2	0	25.1	33.8	0	0	0	0	
(19.0)		10	20.6	33.8	0	0	0	0	
		20	18.2	33.9	0	0	0	0	
		30	14.8	33.9	0	0	0	0	
猿払	8/4	0	18.7	33.9	0	0	0	0	
(-)		10	17.8	33.9	0	10	0	0	
		15	17.7	33.9	0	0	0	0	
		20	17.7	33.9	0	0	0	0	
厚岸	8/6	0	20.5	31.6	60	20	10	0	
(3.5)		5	15.7	32.4	80	240	280	60	Dro10, Dn40, Dru10
		10	12.8	32.6	0	160	90	10	Dn
		13	11.4	32.8	30	30	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex  $7\nu$ 7 +  $3\nu$ 7 -  $3\nu$ 7 - 3

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。毒性値の推移にご注意ください。 7/23に100細胞/L弱のAtが出現した日本海北部(増毛)海域では、今回出現していません。

太平洋東部(厚岸湾央)海域では、下痢性貝毒プランクトンのディノフィシス・フォルティおよびディノフィシス・アキュミナータが200細胞/Lを超えて出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディファ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年8月12日

### 中央水産試験場資源管理部

					·大林庄园谷			m 12	
					<u>痺性原因</u> 種		下痢性原		
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	7/23	0	23.7	33.4	80	0	0	10	Dro
(19.0)		10	21.6	33.7	20	0	0	0	
		20	17.3	33.9	0	0	0	0	
		30	15.2	33.9	0	20	0	0	
猿払	7/27	0	20.8	33.8	0	0	0	10	Dro
(-)		10	20.5	33.8	0	0	0	0	
		15	20.5	33.8	0	30	0	10	Dro
		20	20.4	33.7	0	0	0	0	
能取湖	7/29	0	23.5	33.8	10	0	0	0	
(7.0)		10	19.6	33.7	0	1080	170	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense ፖレキサント・リウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディプラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが日本海北部(増毛)海域および能取湖で出現しています。日本海北部(増毛)海域では100細胞/L弱のAtが出現しているため、念のため毒性値の推移にご注意ください。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・フォルティが日本海北部(増毛)海域, 宗谷北部(猿払)海域および能取湖で出現しています。能取湖ではディノフィシス・フォルティが1000細胞/Lを, ディノフィシス・アキュミナータが100細胞/Lを超えて出現しています。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年8月2日

中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
頓別	7/12	0	14.9	34.2	0	0	0	0	
(-)		10	14.7	34.1	0	20	0	0	
		20	14.4	34.1	0	10	0	0	
		30	13.1	34.1	0	10	0	0	
浜益	7/13	0	16.5	31.9	140	0	0	0	
(6.0)		10	15.6	32.7	40	0	0	0	
		20	12.9	33.6	0	20	0	0	
		30	12.3	33.8	40	20	0	10	Dru
能取湖	7/16	0	20.0	33.5	0	0	0	20	Di
(7.5)		10	16.3	33.6	0	130	50	20	Dru10, Di10
紋別	7/19	0	18.9	33.9	0	0	0	0	
(13.0)		15	18.7	33.9	0	0	0	0	
		25	18.1	33.9	0	0	0	0	
		42	14.8	33.9	0	10	0	10	Dru
常呂	7/20	0	19.7	33.7	0	0	0	0	
(13.0)		10	18.4	33.8	0	0	0	0	
		20	18.0	33.5	0	0	0	0	
		30	14.6	33.8	0	0	0	0	
サロマ湖	7/20	0	22.0	33.4	10	0	0	0	
(9.1)		3	21.1	33.2	0	30	10	30	Dro
		6	17.6	33.6	0	0	0	0	
		9	16.9	33.6	10	0	10	0	
		12	16.0	33.5	0	0	40	0	
		15	15.1	33.5	0	30	0	30	Dro
厚岸	7/21	0	20.7	31.1	10	0	0	0	
(3.5)		5	12.9	32.0	0	0	0	0	
		10	10.6	32.5	0	0	0	0	
		13	9.2	32.7	0	0	0	0	

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが石狩湾(浜益)海域,サロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。石狩湾(浜益)海域では100細胞/Lを超えて出現しているため,毒性値の推移にご注意ください。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・フォルティが宗谷南部(頓別), 石狩湾(浜益), 網走北部(紋別)海域, 能取湖およびサロマ湖で, ディノフィシス・アキュミナータが能取湖およびサロマ湖で, ディノフィシス・ロツンダータがサロマ湖で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年7月19日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	下	痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	7/8	0	19.3	31.4	0	0	0	0	
(15.5)		10	18.5	34.1	0	0	0	0	
		20	14.1	34.1	0	0	0	0	
		30	8.8	34.1	0	0	0	0	
網走	7/12	0	17.5	33.6	1820	0	0	0	
(11.0)		10	13.6	33.9	30	10	0	0	
		20	13.3	33.9	20	0	0	0	
		30	12.7	33.9	20	0	0	0	
標津	7/13	0	11.1	32.3	30	0	0	0	
(7.0)		5	9.9	33.1	20	0	0	0	
		10	8.7	33.2	10	0	0	0	
		15	8.5	33.1	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレキサント ነባሳム ቁፕレンセ スピーシース ٔ コンプ ̂レックス (IBA. tamarense ፖレキサント ነባሳム・ቁፕレンセ)

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが網走南部(網走)海域および根室海峡(標津)で出現しています。網走南部(網走) 海域では1000細胞/Lを超えています。毒性値の推移にご注意下さい。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・フォルティが網走南部(網走)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディファ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年7月16日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	7/7	0	13.5	33.8	0	0	0	0	
(-)		10	13.3	33.8	0	0	0	0	
		15	13.3	33.8	0	30	0	0	
		20	13.2	33.8	0	0	0	0	
増毛	7/8	0	18.6	33.6	0	0	0	0	
(22.0)		10	18.6	33.8	0	0	0	0	
		20	18.2	33.8	0	0	0	10	Dro
		30	14.6	33.9	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント ゚リウム タマレンセ スピーシース゛コンプ レックス (旧A. tamarense アレキサント ゚リウム・タマレンセ)

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・フォルティが宗谷北部(猿払)海域で, ディノフィシス・ロツンダータが日本海北部(増毛)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウタータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年7月8日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	 因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	6/24	0	18.4	32.7	0	0	0	0	
(7.0)		10	13.5	33.3	0	20	0	0	
増毛	6/29	0	18.2	33.6	0	0	0	0	
(21.0)		10	17.0	33.8	0	0	0	0	
		20	13.4	34.0	0	0	0	0	
		30	11.9	34.2	0	0	0	0	
厚岸	7/1	0	14.6	31.4	10	0	20	0	_
(3.5)		5	12.7	31.7	0	0	10	0	
		10	10.3	32.1	20	0	0	0	
		13	8.8	32.3	10	0	0	0	
サロマ湖	7/6	0	17.2	33.1	0	0	0	0	
(7.8)		3	17.2	33.1	10	30	20	0	
		6	16.5	33.1	10	10	0	0	
		9	14.9	33.4	0	0	0	0	
		12	14.4	33.5	0	0	0	0	
		15	13.1	33.3	0	0	0	0	
常呂	7/6	0	14.1	33.7	0	0	0	0	
(11.0)		10	13.2	33.7	0	0	0	0	
		20	12.4	33.9	0	0	0	0	
		30	11.8	33.9	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \na$ 

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域およびサロマ湖で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・フォルティおよびディノフィシス・アキュミナータが能取湖, サロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年6月30日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	6/21	0	15.6	33.9	0	0	0	0	
(10.0)		10	15.1	33.9	0	0	0	0	
		20	13.9	34.0	0	0	0	0	
		30	12.3	34.1	0	0	0	0	
サロマ湖	6/21	0	14.2	32.6	0	0	0	0	
(9.0)		3	14.2	32.6	0	0	0	0	
		6	13.9	33.1	0	0	0	0	
		9	13.3	33.0	0	0	20	0	
		12	11.6	32.9	0	0	0	0	
		15	10.3	33.0	0	0	0	0	
常呂	6/22	0	13.4	33.3	0	0	0	0	
(7.0)		10	12.0	33.7	0	0	0	0	
		20	11.9	33.8	0	10	0	0	
		30	11.6	33.8	0	0	0	0	
厚岸	6/22	0	11.2	31.6	0	0	10	0	
(10.0)		5	9.9	32.3	0	0	60	10	Dn
		10	9.7	32.3	10	0	130	20	Dn
		13	9.2	31.8	30	10	30	0	
標津	6/23	0	12.4	32.0	60	0	0	0	
(10.0)		5	10.7	32.1	30	0	0	0	
		10	7.1	32.5	0	0	0	0	
		15	5.5	32.6	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium\ tamarense\ species\ complex\ 7 ν + 4 ν λ^* J γ Δ λ δ γ ν ν λ δ λ δ γ ν ν λ λ (IBA.\ tamarense\ 7 ν + 4 ν λ^* J γ Δ λ δ γ ν ν λ λ δ λ δ γ ν ν λ λ δ λ δ γ ν ν λ λ δ γ ν ν λ λ δ γ ν ν λ λ δ λ δ γ ν ν λ δ γ ν ν λ δ γ ν λ δ γ ν ν λ δ γ ν ν λ δ γ ν ν λ δ γ ν ν λ δ γ λ δ γ ν λ δ γ ν λ δ γ ν λ δ γ ν λ δ γ λ δ γ λ δ γ λ δ γ λ δ γ λ δ γ λ δ γ λ$ 

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)および根室海峡(標津)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータがサロマ湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年6月24日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
浜益	6/14	0	16.5	31.9	0	0	0	0	
(9.0)		10	15.6	32.7	0	10	30	0	
		20	12.9	33.6	0	10	10	0	
		30	12.3	33.8	0	0	10	0	
増毛	6/15	0	16.0	32.7	0	0	0	0	
(10.0)		10	14.8	33.7	0	0	0	0	
		20	14.5	33.9	0	0	0	0	
		30	13.3	34.0	0	0	0	0	
猿払	6/15	0	12.3	33.7	0	0	0	0	
(-)		10	12.3	33.7	0	0	0	0	
		15	12.3	33.7	0	0	0	0	
		20	12.3	33.7	0	0	0	0	
紋別	6/16	0	13.0	33.4	0	0	0	0	
(10.0)		15	12.5	33.5	0	0	0	0	
		25	11.4	33.7	0	0	0	0	
		37	10.6	33.8	0	0	10	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla$ 

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・フォルティおよびディノフィシス・アキュミナータが石狩湾(浜益)海域および網走北部(紋別)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年6月22日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	因種				
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	6/10	0	14.9	32.1	0	0	0	0	
(7.6)		10	10.3	32.7	0	0	0	0	
頓別	6/11	0	12.4	33.6	0	0	0	0	
(-)		10	12.1	33.6	0	0	0	0	
		20	12.1	33.6	0	30	10	0	
		30	12.1	33.6	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex  $7\nu$ 7 +  $3\nu$ 7 -  $3\nu$ 7 - 3

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンではディノフィシス・フォルティおよびディノフィシス・アキュミナータが宗谷南部(頓別)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウタータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年6月14日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	6/1	0	7.8	33.6	0	0	0	0	
(-)		10	7.7	33.7	0	0	0	0	
		15	7.5	33.7	0	0	0	0	
		20	7.5	33.7	0	0	0	0	
標津	6/3	1	8.6	31.6	10	0	0	0	
(8.8)		5	7.4	31.9	0	0	70	10	Dru
		10	5.8	32.1	0	0	40	10	Dru
		15	5.7	32.1	0	0	60	0	
サロマ湖	6/7	0	13.6	32.3	0	0	0	0	
(5.5)		3	10.7	32.1	10	0	20	0	
		6	9.8	32.3	0	0	10	20	Dru10, Dm10
		9	9.6	32.5	0	0	20	0	
		12	9.8	32.7	0	0	10	0	
		15	8.4	32.8	10	0	10	0	
網走	6/7	0	10.3	33.5	0	0	0	0	
(5.0)		10	8.9	33.6	0	0	0	0	
		20	8.2	33.7	0	0	10	0	
		30	8.1	33.6	0	0	0	0	
厚岸	6/7	0	14.2	28.7	10	0	0	0	
(1.5)		5	10.0	31.3	0	0	90	40	Dn30, Dru10
		10	7.7	32.1	10	0	20	10	Dn
		13	6.6	32.3	10	0	0	0	
常呂	6/10	0	11.2	28.6	0	0	0	0	
(9.0)		10	10.2	33.5	0	0	0	0	
		20	10.2	33.5	0	0	0	0	
		30	10.2	33.5	0	0	0	0	

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtがサロマ湖, 根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカおよびディノフィシス・ルジェイがサロマ湖,根室海峡(標津)、網走南部(網走)海域および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンタータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディフラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年6月7日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	5/18	0	14.8	33.9	0	0	0	0	
(12.1)		10	14.0	33.8	0	0	0	0	
		20	12.6	33.9	0	0	0	0	
		30	11.3	34.0	0	0	0	0	
浜益	5/20	0	12.7	24.9	0	0	10	0	
(3.0)		10	9.4	33.1	0	0	10	0	
		20	8.8	33.7	0	0	0	10	Dru
		30	8.2	33.9	0	0	10	0	
増毛	5/21	0	12.4	30.3	0	0	0	0	
(7.0)		10	11.5	32.2	0	0	0	0	
		20	8.9	33.4	0	0	0	0	
		30	7.9	33.7	0	0	0	0	
能取湖	5/24	0	10.2	31.4	20	0	50	0	
(6.5)		10	5.0	32.1	0	0	10	0	
厚岸	5/24	0	8.0	30.8	0	0	0	0	
(2.5)		5	6.8	31.9	10	0	0	0	
		10	6.1	32.2	0	0	0	20	Dn
		13	5.1	32.2	0	0	30	0	
猿払	5/25	0	8.6	33.3	0	0	0	0	
(-)		10	7.9	33.5	0	0	10	0	
		15	7.5	33.6	0	0	0	10	Dru
		20	7.3	33.6	0	0	10	0	
サロマ湖	5/25	0	10.5	30.8	0	0	10	0	
(5.0)		3	10.4	30.7	0	0	10	0	
		6	7.5	31.5	0	0	0	0	
		9	6.6	31.7	0	0	0	20	Dru
		12	6.1	31.7	0	0	0	0	
		15	4.6	32.0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex ፖレትサント ሀሳム ያマレンセ スピーシース ٔ コンプ ບックス (IBA. tamarense ፖレትサント リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが能取湖および太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータおよびディノフィシス・ルジェイが石狩湾(浜益), 能取湖, 太平洋東部(厚岸湾央), 宗谷北部(猿払)海域およびサロマ湖で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata  $\bar{\tau}^*$ ין אור פֿילע פֿריל פֿרי

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年5月26日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	5/12	0	6.5	33.5	0	0	60	0	
(-)		10	6.5	33.5	0	0	20	0	
		15	6.5	33.5	0	0	50	0	
		20	6.5	33.5	0	0	30	0	
紋別	5/14	0	2.6	32.3	0	0	40	10	Dru
(7.0)		15	4.5	33.3	0	0	0	0	
		25	4.6	33.4	0	0	0	10	Dru
		31	4.6	33.4	0	0	0	0	
頓別	5/17	0	8.0	33.3	0	0	0	0	
(-)		10	7.9	33.4	0	0	0	0	
		20	7.6	33.4	0	0	0	0	
		30	7.2	33.5	0	0	10	10	Dru

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータが宗谷北部(猿払)・南部(頓別)海域, 網走北部(紋別) 海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年5月19日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種		下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
増毛	5/5	0	8.1	31.4	0	0	0	0	
(6.0)		10	7.2	33.8	0	0	0	0	
		20	7.0	33.9	0	0	0	0	
		30	6.8	34.0	0	0	0	0	
厚岸	5/7	0	6.6	30.9	0	0	0	0	
(2.5)		5	6.0	31.6	10	0	0	0	
		10	4.5	32.2	0	0	0	0	
		13	4.1	32.3	0	0	0	0	
サロマ湖	5/10	0	7.1	30.9	0	0	0	0	
(4.5)		3	7.1	31.0	0	0	0	0	
		6	7.1	31.0	0	0	0	0	
		9	6.2	31.2	0	0	0	0	
		12	5.9	31.7	0	0	0	0	
		15	5.6	31.8	0	0	0	0	
能取湖	5/10	0	7.4	31.6	0	0	80	0	
(4.1)		10	5.8	31.8	0	0	70	0	
網走	5/10	0	2.6	32.2	0	0	10	0	
(5.0)		10	2.1	32.2	0	0	0	0	
		20	3.4	32.9	0	0	10	0	
		30	3.9	32.9	0	0	20	0	
常呂	5/12	0	2.0	32.6	0	0	0	10	Dru
(5.0)		10	2.1	32.7	0	0	20	10	Dru
		20	2.3	32.9	0	0	0	0	
		30	2.4	33.0	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシーズ・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータが能取湖,網走南部(網走)・中部(常呂)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年5月13日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	<del>-</del>	下痢性原	因種	
地点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
江差	4/23	0	10.0	32.0	0	0	0	0	
(11.2)		10	9.5	33.9	0	0	10	0	
		20	9.4	33.9	0	0	10	0	
		30	8.7	34.0	0	0	0	0	
増毛	4/24	0	8.6	33.1	0	0	50	0	
(12.0)		10	7.8	33.6	0	0	90	10	Dc
		20	7.7	33.7	0	0	30	10	Dc
		30	7.1	33.9	0	0	10	0	
能取湖	4/28	0	6.7	32.2	0	0	0	0	
(5.5)		10	5.4	32.3	0	0	20	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシーズ・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは主にディノフィシス・アキュミナータが日本海南部(江差)・北部(増毛)海域および能取湖で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年4月30日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
猿払	4/20	0	5.6	33.7	0	0	70	0	
(-)		10	5.6	33.7	0	0	90	0	
		15	5.6	33.7	0	0	130	0	
		20	5.6	33.7	0	0	20	0	
浜益	4/23	0	8.8	33.3	0	0	0	0	
(3.5)		10	7.8	33.8	0	0	0	0	
		20	7.7	33.9	0	0	0	0	
		30	7.7	33.9	0	0	0	0	
厚岸	4/23	0	4.8	29.7	0	0	0	0	
(2.5)		5	3.3	32.1	0	0	0	0	
		10	2.3	32.3	0	0	0	0	
		13	1.5	32.7	0	0	0	0	
サロマ湖	4/26	0	5.3	32.2	0	0	0	0	
(5.8)		3	5.3	32.2	0	0	10	0	
		6	5.3	32.2	0	0	10	0	
		9	5.3	32.2	0	0	0	0	
		12	5.4	32.4	0	0	0	0	
		15	5.2	32.5	0	0	0	0	
常呂	4/28	0	3.9	32.1	0	0	10	0	
(6.0)		10	3.4	32.6	0	0	10	0	
		20	4.5	32.9	0	0	80	10	Dru
		30	4.5	32.8	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプ・レックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

主に下痢性貝毒プランクトン ディノフィシス・アキュミナータが宗谷北部(猿払)海域, サロマ湖および網走中部(常呂)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年4月23日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
能取湖	4/12	0	3.8	31.3	0	0	30	0	
(6.5)		10	3.1	32.3	0	0	10	0	
頓別	4/13	0	5.8	33.2	0	0	110	0	
(-)		10	5.8	33.2	0	0	180	0	
		20	5.8	33.2	0	0	190	0	
		30	5.8	33.3	0	0	210	0	
猿払	4/15	0	6.0	32.9	0	0	200	0	
(-)		10	6.0	33.0	0	0	310	0	
		15	6.0	33.0	0	0	170	0	
		20	6.0	33.0	0	0	170	0	
紋別	4/16	0	5.7	33.4	0	0	0	0	
(1.5)		15	5.7	33.4	0	0	170	0	
		25	5.7	33.5	0	0	30	0	
		40	5.6	33.5	0	0	70	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \na$ 

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンのディノフィシス・アキュミナータが能取湖, 宗谷北部(猿払)・南部(頓別)海域および網走北部(紋別)海域で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント・リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年4月15日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
<u>(透明度m)</u>		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
常呂	4/12	0	3.9	27.5	0	0	10	0	
(4.0)		10	1.8	32.2	0	0	20	0	
		20	3.0	32.8	0	0	20	0	
		30	3.5	32.9	0	0	10	0	
サロマ湖	4/12	0	5.2	29.6	0	0	20	0	
(4.5)		3	4.1	30.7	0	0	0	0	
		6	3.6	31.4	0	0	0	0	
		9	3.1	32.1	0	0	0	0	
		12	2.2	32.5	0	0	10	0	
		15	1.5	32.9	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサント・リウム タマレンセ スピーシース・コンプレックス (旧A. tamarense アレキサント・リウム・タマレンセ)

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、 ディノフィシス・アキュミナータが網走中部(常呂)海域およびサロマ湖で出現しています。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年4月12日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	_	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
網走	4/5	0	0.7	32.18	0	0	30	10	Dru
(4.0)		10	-0.9	32.73	0	0	0	0	
		20	-0.4	32.89	0	0	0	0	
		30	0.0	33.11	0	0	0	0	
厚岸	4/5	0	2.5	30.84	0	0	0	0	
(2.5)		5	2.2	31.53	0	0	0	0	
		10	1.8	31.88	0	0	0	0	
		13	1.3	32.19	0	0	0	0	
標津	4/7	0	2.5	30.15	0	0	0	0	
(17.0)		5	1.2	31.15	0	0	0	0	
		10	1.0	31.60	0	0	0	0	
		15	8.0	31.71	0	0	0	0	

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・アキュミナータおよびディノフィシス ルシェイが網走南部(網走)海域で出現しています。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年3月16日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	3/9	0	0.4	29.47	0	0	0	0	
(3.0)		5	0.1	31.84	0	0	0	0	
		10	-0.3	32.13	0	0	0	0	
		13	-0.4	32.22	0	0	0	0	
標津	3/12	0	-0.9	31.78	0	0	0	0	
(17.0)		5	-1.2	31.84	0	0	0	0	
		10	-1.2	31.84	0	0	0	0	
		15	-1.2	31.84	0	0	0	0	

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ,Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年2月22日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津	2/15	0	-0.9	31.63	0	0	0	0	
(17.0)		5	-0.9	31.68	0	0	0	0	
		10	-0.9	31.72	0	0	0	0	
		15	-0.9	31.73	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nab$ 

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルン゙ェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウタータ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

## 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)

(日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年2月12日

## 中央水産試験場資源管理部

				麻	痺性原因種	-	下痢性原	因種	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	2/1	0	-1.3	31.45	0	0	0	0	
(3.0)		5	-1.0	31.94	0	0	10	0	
		10	-0.6	32.05	0	0	10	0	
		13	-0.5	32.09	0	0	0	0	

 $At = Alexandrium \ tamarense \ species \ complex \ 7 \nu + \nu \nu \nabla \ 1 \nabla \ 2 \nu \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nabla \nabla \nabla \ 2 \nabla \nab$ 

Aa = Alexandrium affineアレキサント リウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロッンダータ、 Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudataディノフィシス コウダータ

#### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域で出現しています。

# 貝毒プランクトンモニタリング・速報 (YC1) (日本海~オホーツク海~根室海峡~えりも以東太平洋)

2021年1月26日

## 中央水産試験場資源管理部

				Я	麻痺性原因種		下痢性原	<b>因種</b>	
地 点	月日	深度	水温	塩分	At	Df	Da	D属の他種	備考
(透明度m)		(m)	(°C)	(psu)	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸	1/12	0	-0.3	32.38	0	0	20	0	
(4.5)		5	0.1	32.53	0	0	0	0	
		10	0.1	32.52	0	0	0	0	
		13	0.1	32.54	0	0	0	0	
標津	1/22	0	0.1	31.75	0	0	0	0	
(14.0)		5	0.1	31.73	0	0	20	0	
		10	0.1	31.72	0	0	0	0	
		15	0.1	31.72	0	0	0	0	

Aa = Alexandrium affineアレキサント ゚リウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ,Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディ/フィシス ・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディ/フィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディ/フィシス ルジェイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス コウダータ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンでは、ディノフィシス・アキュミナータが太平洋東部(厚岸湾央)海域および根室海峡(標津)海域で出現して います。